

共に学べる共生社会をめざして

兵庫県では、大学や企業、社会福祉法人、NPO法人などの様々な障害者支援団体等が連携し、障害者本人も参画する「地域連携コンソーシアム」を形成して、障害者の生涯学習支援のための課題解決に向けた取組を行っています。障害の有無にかかわらず、誰もが学べる共生社会をめざして、一緒に取り組んでみませんか。

「学び場検索アプリ」への登録にご協力ください。



随時募集中

ご協力いただける場合は、下記へご連絡ください。

学び場検索アプリの登録に関するお問い合わせはこちらから

「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアム事務局
(神戸大学大学院人間発達環境学研究所ヒューマンコミュニティ創成研究センター内)
TEL:078-803-7970

「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」や学びを支援する人たちのための**研修会**を実施しています。関心のある方はどなたでもご参加いただけます。開催情報は、兵庫県教育委員会社会教育課HPに随時掲載



問い合わせ

兵庫県教育委員会事務局社会教育課社会教育班

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1

Tel 078-362-3782 Fax 078-362-3927

共に学べる共生社会をめざして



認定NPO法人
ぽっかぽか
ランナーズ
(宝塚市)

KOBELあわせの村
ユニバーサルカレッジ
(神戸市)

- ONE TRIBE(芦屋市) タウン症のある方やその他の障害のある方を対象としたダンススクール
- 西宮青年生活学級(西宮市) 18歳以上の知的障害のある市民を対象にレクリエーション等の集合行事を開催しています
- みずほの家LOVEダンサーズ(丹波篠山市) 生活介護事業所みずほの家マリーハウスに通うダンスが大好きなLOVEダンサーズ
- 認定NPO法人ぽっかぽかランナーズ(宝塚市) あらゆき 春ランナーに伴走ランナーをマッチングし、マラソン大会参加を支援!
- 神戸大学 学ぶ楽しみ発見プログラム(KUPI)(神戸市) 知的障害のある青年が楽しみながら「大学の知」に触れるプログラム
- KOBELあわせの村ユニバーサルカレッジ(神戸市) 神戸市民の福祉の向上をめざし、あわせの村の管理及び福祉事業を展開しています
- You・友・遊(丹波篠山市) 丹波篠山市手をつなぐ育成会本人型会で定期的に科未読演者を楽しんでいます

01 学びたい思いを形にする取組

▶ 社会教育施設の利用促進

「障害者の生涯学習に関するアンケート調査」(令和3年度実施)から、こんなことが明らかに。

POINT 01

どのような活動があるかわからないなどの理由から、活動する意欲があるにもかかわらず取り組んでいない人の割合が

55.8%

POINT 02

自由時間を使った活動場所として、図書館や博物館などの社会教育施設をあげる人の割合が

6%



障害者側

- ・騒いだりして、他の来館者の迷惑にならないかな
- ・なんとなく敷居が高く感じる
- ・行っても楽しめないのでは？

→主体性を持って学ぶ意欲の育成



博物館などの社会教育施設側

- ・どんな配慮が必要かわからない
- ・障害者用の講座をどう周知したらいいの？
- ・敷居が高いと感じられてしまう理由はなんだろう？

→全ての人に開かれた博物館に

そこで

より利用しやすい施設をめざして実施する

ミュージアム・インクルージョン・プロジェクト

障害者の生涯学習を支援するため、ミュージアム等の社会教育施設における活動を当事者の視点から見つめなおし、改善を加えることで施設の利用促進を図ります。

実施の
03
STEP

STEP 01

障害のある人が調査隊*として博物館等を訪問し、体験や見学を実施



STEP 02

展示等について、「こうすればもっと楽しめる!」という意見を博物館等と協議



STEP 03

意見を基に、博物館等はより利用しやすい施設をめざして可能な改善を実施



調査隊*自分たちの学びの場を整えようとする知的障害、視覚障害、聴覚障害、精神・身体障害のある方々

R5年度プロジェクト実施施設

県立美術館/県立図書館/県立歴史博物館/県立考古博物館/県立考古博物館加西分館/県立山山川公苑美術館/県立兵庫津ミュージアム/兵庫陶芸美術館/榎尾忠則現代美術館/人と防災未来センター/丹波篠山市立歴史美術館/多可町立杉原紙研究所/明石市立文化博物館/たつの市立藤野歴史文化資料館

----- 調査隊が感じたこと -----

プログラム

- ・体験をはじめる前に工程を見本や写真を示しながら説明するとより楽しめる

展示

- ・作品の説明の文字がもっと大きくルビがあるとわかりやすい
- ・映像による作品紹介があれば楽しく学べる
- ・作品に音声案内があればいい
- ・触ることができる作品かどうかわかれば安心して楽しめる
- ・全体を想像できない作品は、ミニチュアのような触られるものがあればいい
- ・解説動画に字幕や手語をつけてほしい
- ・展示室が暗く見えにくかった。キャプションの部分だけに光があたるような工夫があればいい

施設

- ・「してはいけないこと」を文字だけでなくイラストで表示(ピクトグラム)*するとわかりやすい
- ※文字を使わない情報伝達のための単純化された絵文字
- ・観覧ルートがわかるように、点字ブロックや滑りやすさの違う床材などで案内すればいい

受け入れ態勢

- ・障害者だと構えず、笑顔で対応してもらえると嬉しい
- ・受付の人が簡単な手話であいさつしてくれると緊張が和らぐ
- ・見えやすい場所に「耳マーク」「コミュニケーションボードあります」の表示があれば安心できる
- ・説明を聞いて、いろんな活動をしていることがわかったが、まわりの当事者で知っている人はいない。障害者団体など周知先を検討してみてもどうか
- ・荷物を置いてゆっくり休める空間があれば安心できる
- ・飲食禁止など禁止事項を事前に表示しておくことで安心して準備することができる



多可町立杉原紙研究所 / 紙すき体験



県立美術館 / 手で見る造形



県立歴史博物館 / 誰でも楽しめる展示室

調査隊の意識変容

障害のある自分の子どもは博物館とは縁遠いと思っていたが、楽しそうな反応に驚いた。

博物館や美術館は思いのほか楽しいところだった。休みの日には、めぐってみようと思った。

伝えた意見をもとに改善してくれた。他の人のためにもなると思うと嬉しい。

CHECK!

利用しやすくなるための調査後の改善策(一例)

- ・来館者の誘導のため、展示室やトイレの案内板を床に掲示した
- ・車椅子利用者が体験しやすいように、作業台の高さを調整した
- ・エレベーターを利用する際に手助けが必要な場合、連絡できる電話番号を掲示した



→ 対応可能なことはすぐに改善し、難しいことは長期的な計画も含め可能な範囲で検討中



障害のある人の学ぶ意欲の向上や学習効果の高い展示など博物館の価値を高めることにつながっている

02 知ってほしい、学びを支援する取組



家の近くにどんな学びの場があるのかな。
ネットの情報だけではわかりにくいなあ。

➔ 新しい学びとの出会いに、**学び場検索アプリ** をご活用ください。

● どんなアプリ？

主に県内の学びの場を自分にあった条件で簡単に検索できるアプリです。動画や字幕を使って、活動紹介している団体もあります。

こんな情報を掲載しています

- ・団体名
- ・参加形態
- ・障害種別
- ・活動内容
- ・特徴
- ・連絡先等

アクセスは
こちらから



▲ 詳細ページ



▲ 一覧ページ

登録団体数
120団体
(R6.1現在)



「何かやってみよう」って思ったら、ぜひこのアプリで探してみてください。
たくさん学び場が紹介されているんだよ。

学校を卒業すると、学びに関する情報が入手しにくいのかな？
学校以外でもいろいろな学びに挑戦してみたい。

そこで

県立阪神特別支援学校高等部と
県立姫路特別支援学校高等部の生徒を対象に、
「学び場検索アプリ」を使った生涯学習について授業を実施

生徒の感想

- ・興味のあるダンスの団体があったので、卒業したら連絡してみたい
- ・家の人に操作方法を教えて一緒に見てみたい
- ・QRコードですぐに検索ができて、簡単だった
- ・もっと多くの団体が近くにあっていいのにな



卒業する前にこのアプリを知っておくと、いざ何かをしたいと思ったときに便利だよ。



障害の理解はもちろんだけど、私たちの気持ちに寄り添った
支援をしてくれる支援者がいてくれたらなあ。

➔ 学びを支援する人たちのための研修会を実施

当事者の思いに寄り添った支援者を育成するため、支援経験の浅い方を対象に、
障害者の生涯学習に関わる基礎的な事柄についての講義と、日頃支援に関わる中
での悩みなどを共有することで、支援者相互のネットワークづくりの場とする。

テーマ

「やってみよう やって見たよ」

当日の様子



参加者より

- ・様々な立場の方と情報交換して、ネットワークづくりができた
- ・行政が実施する障害者の生涯学習支援について、当事者の意見を聞けた
- ・他部署(障害福祉等)や関係団体等と連携して、障害者の生涯学習支援に取り組みたい

学びの当事者とともに、支援する側も効果的な支援について学ぶことが大切です。

次は、いろんな学びの場を回って見てみよう!



03 学び場づくりの取組

▶ 身体障害者社会学級

教養や実践的な知識・技能等を習得するとともに交流の機会を通して、相互理解を深め、生きる喜びを創造する場を提供する事を目的に県内6地域で実施。各学級にはコーディネーターが配置されています。

青い鳥学級(視覚障害者:8学級)
くすの木学級(聴覚・言語障害者:7学級)
たけのご学級(筋ジストロフィー症者:1学級)



学級生より
講座は毎年私たちの学びたいことを取り入れて計画してくれるので、どんな事を学べるかや、講師の先生との交流も楽しみにしています。

● 特徴的な取組例

- ・ 甲子園スタジアムツアー
- ・ UD映画鑑賞(※音声ガイド付き映画)
- ・ 小学校との交流講座(点字教室)

● コーディネーターの役割

学級生の多様な意見を柔軟に調整し、連携団体の協力を得ながら学習者の主体的な学びの支援体制の充実にむけた方策の検討を行います。



兵庫県たけのご学級(オンラインを活用した講座)

▶ 「神戸大学学ぶ楽しみ発見プログラム」(KUPI)

KUPIは、知的障害のある青年・成人を対象とした神戸大学の履修証明プログラムです。5年目のKUPIは、13名の仲間たちが、火曜日・水曜日・金曜日の夜に神戸大学のキャンパスに集まり、一般の学生と大学の教員が行う授業を受けました。



KUPI学生の声

図書館では、調べた事に関係する本をかりました。その本で新しいことを知ることができたのでよかったです。

動物の授業はほねの標本やイノシシとシカの毛などをみたりさわったりしたので印象にのこっています。

火曜日の授業では自分ラップで、自己紹介を作成しました。働いていることや、私の子供時代、家族と旅行に行っているのを伝えました。

KUPIのみんなは私にとって一番大好きな友だちだと思ってる。みんなの輪の中にいると楽しくてうれしくいらからです。みんな大好き。

▶ 「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 受賞団体の取組

障害者が生涯を通じて教育やスポーツ、文化などの様々な機会に親しみ、豊かな人生を送ることができるよう、障害者の生涯を通じた多様な学習を支える活動を行う個人又は団体について、その功労・功績をたたえ表彰されます。

● 手話サークルやまびこ

学習会およびサークル活動をおとして、聴覚障害への理解を深め、手話通訳の技術向上や聴覚障害者の生活支援をすするとともに、小学校での福祉体験学習を実施しています。



● 要約筆記ボランティアサークル@かんざき

身体障害者社会学級「播磨西くすの木学級」の企画・立案および要約筆記通訳を実施しています。「サマーボランティア1日入門」など、障害者理解の啓発活動をしています。



▶ 近畿ブロック「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」の実施

学びの場づくりに関する好事例の共有、障害者の生涯学習活動に関する研究協議等を通じて、障害理解の促進や支援者同士の学び合いによる学びの場の担い手の育成等、障害者の学びの場の充実をめざして開催しました。

生涯学習の分野への関心の高さがあらわれているね。



- ▶ 当事者と支援者による実践発表とそれぞれの視点を交えた協議
- ▶ 学びの当事者が運営に参加し、当事者と支援者が一体となって実施

当日の様子



01:KUPI学生による受付 / 02:支援団体の実践発表「オープンカレッジ(朝来市)」/03:講演(神戸大学大学院人間発達環境学研究所 勅使河原君江氏) / 04:会場における協議の様子(神戸大学鶴甲第2キャンパス) / 05:当事者の実践発表「ダンデライオンズ」



参加者より

- ・ 対面で意見交流ができたので、支援者同士の出会いの場となった
- ・ 地域の人材が、障害者の生涯学習講座の講師をすることで、障害者理解につながると感じた
- ・ 根拠を示しながら対話することの大切さがあった。この視点は、美術鑑賞だけでなく、他の学びの場でも活用できると感じた
- ・ 学びの当事者である「神戸大学学ぶ楽しみ発見プログラム」(KUPI)学生とともにコンファレンスを実施していたのがよかった



当事者も支援者も交流することで、新しい気付きやつながりが生まれるね!